

震災ボランティア新潟大学本部 定期活動報告

平成 16 年 11 月 27 日現在

平成 16 年 10 月 29 日、学務部学生生活支援課内に「震災ボランティア新潟大学本部」を設置し、運営は学生ボランティアの自主的運営に委ねている。設置から約 1 ヶ月経つが、今の本部の活動状況を報告する。

1. 本部データ

トータル (設置から 11/27 現在)

ボランティア本部スタッフ登録人数	:	103名
ボランティア受付カード記入数	:	29名 (個人でボランティアに行かれる方)
ボランティア活動報告書提出数	:	41名
ニーズ完了人数	:	39名
ボランティアに行かれた人数	:	現在処理中 (おそらく、300名は越える予想)

1 週間 (11/22~11/26)

ボランティア本部スタッフ登録人数	:	0名
ボランティア受付カード記入数	:	10名
ボランティア活動報告書提出数	:	7名
車提供者数	:	0名

2. 週間活動記録

【ボランティア本部】

- ◎被災地や各地ボランティアセンターの情報収集及び、学内への情報発信
 - 被災地の現在の状況の掲示
 - …「新大がっこみ」さんが、ネット上で現在の状況をリアルタイムにアップできるネットワーク環境を整えた。
URL:<http://www.shindai-nav.com/>
 - ホームページの作成
 - …HP デザイン ver3 ができた。本文ができ次第、サーバーにあげる予定。
 - ボランティア本部のロゴマークの募集
 - 博進堂の方が取材に来られた。(11/22)
 - 『支部を作ろう!』のミーティングが行われた。(11/24-26)
 - …今の本部のみならず、各学部に出張支部を作る計画。
10名くらい集まる。支部の説明のあと、各学部に分かれて、曜日ごとのシフトを作り、来週の 29 日(月)から動き出せる予定。
 - 本部カウンターの環境づくり
 - …プロジェクトなどで机を使用する場合の注意事項

○救援物資の受付

…学生・教職員等から大量の物品を提供してもらい、学生が現地へボランティアに行く際、持参して被災者に手渡している。

[主な物品]

・タオル ・使い捨てカイロ ・石けん ・衣類
・絵本 ・バケツ ・紙皿・コップ ・軍手

【段ボールマイスター】

◎段ボールを使って、被災者との交流を深める

○『第2回段ボールマイスター養成講座』の計画

…好評だった段ボールマイスター養成講座の第2回を計画。それに伴う、ポスター作り・マイスター説明プリントを作成

日程は11月29日・30日・12月1日

【ペンパル】

◎被災者との文通によって交流を深める

○これからの活動についてのミーティング

…ペンパルの呼びかけ（現地）ポスターの作成。ポストの作成。自己紹介の作成。ペンパル説明プリントの作成。

【チャリティーバザー】

◎学生から物品を提供してもらい、バザーの収益金を義援金として寄附する

○学内に企画を広める

…チャリティーバザー開催に向け、大学構内各所にポスターを掲示。

物品・スタッフ受付カードの作成

誰でも受付ができるよう、受付方法の作成

バザー用BOXをきれいにデザイン。

物品についての受付可否を明記した紙の作成

学務部の職員の方にも物品の提供を求める。

売上表・売り上げ合計表の作成

物品の受付可否についてはまだまだ検討の余地がある。

【出張かてきょー】

◎被災地の中高生（受験生）をサポート

○現実化させるための準備

…「出張かてきょー」の活動計画案を完成させた。

長岡市教育委員会にFAX送信完了

ポスターの草案作成

教育委員会から電話があった(11/25)。学校から直接本部に電話が来ることが決定。小中学校に情報を流してくれるとのこと。

学校から直接かてきょーに関する問い合わせがくる可能性がある。
ソニー主催のボランティア基金にエントリー用紙を送った(11/26)

【チャリティーライブ】

◎ライブを通して、義援金を募る

○ミーティングがあった

…11月26日に第2回のミーティングがあった。

出演団体などの決定。まだまだ煮詰める余地がある。

【掘るまいか】

◎映画の上映

○企画の拡大

…ポスターを貼った。(新潟市での上映会日程+チラシ)

3. コメント

- ・最近、各プロジェクトが本格的に活動している反面、本来の本部受付業務がおろそかになっていたり、受付カウンターでのプロジェクト活動の為、本文に声を掛けにくい環境を自ら作り上げている傾向がある。学生が気軽に来られる環境作りもこれからの課題の一つである。
- ・環境作りについての付け足しとなるが、最近カウンター上が散らかっているのを目にする。それでは、本部に来た学生はおろか、我々スタッフも作業に支障がでる。整理整頓を意識づけることが大切。
- ・午前中に本部にいる人数が極端に少ない。午前中だから、本部に来る学生は少ないのは事実だが、0ではないので、しっかりとした対応が求められる。
- ・学生から、各プロジェクトや、本部の活動内容を尋ねられたとき、迅速に対応できていない状況がある。誰でも、今何をやっているのかを分かるように、活動記録カードを制作したのだから、各プロジェクト担当者、本部スタッフは進んで記入してもらいたい。